

CWA NEWS



2017千葉県友好使節団を派遣

千葉ウィスコンシン協会では去る10月7日(土)から15日(日)にかけて、2017千葉県友好使節団をウィスコンシン州へ派遣しました。今回の使節団は、事務局を含め文化・芸術グループ4名、教育グループ5名の計9名で構成されています。

一行は出発前の9月7日(木)に森田健作知事を表敬訪問しました。



森田知事との記念撮影

最初に、当協会の赤塚稔常務理事(写真前列右端)から団員を紹介した後、高橋在也団長(千葉大学大学院看護学研究科特任講師:写真前列左から3人目)が「アートとケアのミックスのグループとして、それぞれの分野での交流を楽しみにしている」と決意を述べました。森田知事はこれに応じて「ウィスコンシン州は街並みもきれいで良いところです。皆様がいろいろ交流するのはすばらしいこと。使節団として使命感もあると思うが、ぜひゆっくり楽しんで」と自身の渡航経験を交えて団員にエールを送りました。

使節団は9日間の日程を終え無事帰国しましたが、文化・芸術グループでは、舞踊集団「伎音戯座」が、学校などで華麗な舞踊を披露し生徒をはじめ市民の方と交流を深めてまいりました。

また、教育グループでは、大学の看護学部を中心に訪問し、終末医療や成人看護、精神看護などについて有意義な意見交換を行ってまいりました。

なお、今回お世話になったホームステイ先は、昨年9月に来葉したメキシカンダンスのメンバーやその友人宅でしたが、心のこもったおもてなしをしていただきました。

詳細は次号でお知らせします。



出発前の使節団一行(成田空港)

「第49回日本・米国中西部会 日米合同会議」が東京で開催

9月10日（日）から12日（火）まで、「第49回日本・米国中西部会 日米合同会議」が、都内で開催されました。

この会議は、日本と米国中西部の経済関係者や有識者の相互交流及び理解促進を図ることを目的として、毎年、日米交互に開催されています。米国からは、ウィスコンシン州をはじめインディアナ州、



茂木議長（中央）と
5州、3県の知事（右端がウォーカー知事）

イリノイ州、ネブラスカ州、ミシガン州、日本からは千葉県、滋賀県、埼玉県の知事が出席したほか、日米双方の経済関係者が多数参加し、当協会の会長でもある茂木友三郎氏が日本側の議長となって、経済成長のための戦略について幅広い議論を交わしました。

開会式で森田知事は、国際空港や整備された道路網によるアクセスの良さとともに、自然や食に恵まれた千葉県をPRしたほか、ウィスコンシン州のスコット・ウォーカー知事と両県州の産業振興について情報交換しました。



開会式での森田知事のあいさつ

千葉県とウィスコンシン州の 友情のシンボル



Kikkoman Foods, Inc. 社長
清水 和生

ウィスコンシン州ウォールワースという街にキッコマンの製造拠点ががあります。シカゴのオヘア空港から車で一時間半の距離に位置します。1973年の初出荷以来、順調に出荷量も増え工場も拡張を続け、来年6月には45周年の節目を迎えます。

1985年のプラザ合意の後、急速な円高が進み、多くの日本のメーカーが北米市場に直接投資を行い生産を開始しましたが、1970年代はまだ日本企業がアメリカで生産拠点を持たない時代、その先駆けとして北米進出を果たしました。

キッコマンが米国に販売拠点を置いて本格的にアメリカ市場でのマーケティングを開始したのは1957年に遡ります。順調に販売も伸び、今ではアメリカのほとんどのスーパーマーケットでキッコマン醤油をお買い上げいただくことができ、多くのレストランや一般家庭でお使いいただいています。

キッコマンが当地に立地していることもあり千葉県とウィスコンシン州が姉妹州の関係を結ぶご縁につながりました。姉妹提携25周年にあたる2015年秋に県の友好使節団がウィスコンシン州を訪問されましたが、その際に25周年を記念した植樹式が催され、光栄にも当社工場の敷地内にホワイトシルクライラックの樹を植えていただきました。

北米産のライラックは寒さに強いということもあり、冬が厳しい当地にあっても順調に育っています。春先には白い花が咲き、私のオフィスからも日々その成長を見ることができます。

ライラックの花言葉は「友情」です。まさに双方の未来永劫の関係を物語るに相応しい記念樹だといえます。千葉県とウィスコンシンの姉妹関係が末永く発展することを心からお祈り申し上げます。



2015年10月に姉妹提携25周年を記念して
キッコマン・フーズ社ウィスコンシン工場に
植樹されたホワイトシルクライラック

新任ALTを歓迎する会2017～友禅染のハガキをつくろう～開催結果

9月3日(日)、千葉市生涯学習センターで、新任ALTを歓迎する会を開催しました。参加者はウィスコンシン州出身で県内の高等学校に着任した新任3名を含むALT 6名のほか、ALTの御家族、友禅染作家の宮下公子先生と宮下恵美先生、CWA会員など総勢30名でした。

まず、集合時間がランチタイムにかかるため、6グループに分かれた各テーブルには、サンドイッチ、梨、抹茶羹、ジュースが用意され、食事をとりながらの歓談です。早速、グループ内で自己紹介をはじめとした交流が始まりました。

続いて、今回着任した3人のALTから出身地や赴任先などが紹介された後、いよいよ本日のメインイベントである友禅染の絵葉書づくりが始まりました。



友禅染は江戸時代に生まれ、優雅な着物の絵模様として知られていますが、今回は友禅染の顔料を使ってハガキの上に型紙をおいて色をつけるものです。

ハガキに色をつける前の準備作業として、よくシェイクした顔料（必要に応じて2、3種類）を小さな器にとり刷毛（またはスポンジ）に少しだけつけた後、パレット代わりの牛乳の紙パックの上で、刷毛（またはスポンジ）を回しながらグリグリ（またはカシャカシャ）混ぜ合わせます。そして、十分色が馴染んだところで、型紙の上で刷毛（またはスポンジ）を円を描くように回しながら、型紙の穴の開いたところに動かして色を塗るのですが、その時顔料を少量に抑えることでボカシを入れたりすることがみそです。

講師のお二人から以上の説明と実技指導を受けた後、一人3枚のハガキを与えられた各参加者は一斉に絵葉書づくりに取り組みました。

20種類の顔料や20種類以上の型紙（葉っぱ、花びら、虫、果物など）をどう使うかは各自の裁量に任されています。各グループでは、他人の作品からヒントを得たりしながら黙々と取り組み、次第に淡白な作品から職人肌の凝った作品まで個性豊かな作品が出来上がりました。そして、何より良かったことは、本人が失敗したと思う作品でも、講師の方が「これはこれなりに味がある」と褒めていたことです。こうした相手を包み込むような優しい雰囲気会場内に満ちていて、とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。

最後の参加者全員での記念撮影も和やかな雰囲気の中で無事終了し、再会を約して散会しました。



全員で記念撮影

ウィスコンシン州の文化と歴史 (パート1)



Donald McNurlan(CWA会員)

*和訳は奥様のKayoko McNurlanさんにお願いました。



Wisconsin Postscripts

Place names in Wisconsin, like my birthplace, are cultural, historical artifact that tells us about the people who lived there and throughout Wisconsin. Prior to the arrival of the first French explorers, Wisconsin was inhabited several Indian nations, primarily the Chippewa (Ojibwa), Menominee, Winnebago and Dakota tribes. Many of the rivers, cities and counties of Wisconsin have names derived from these tribes.

The address of the home I grew up is reflective of the culture and history of the Wisconsin. It was Hopokoekau Beach on the shores of Lake Winnebago in the Village of Taycheedah, Fond du Lac, Wisconsin.

First, Lake Winnebago is named after the Winnebago Indian tribe that once resided in the area around the lake and “Hopokoekau” means “glory of the morning” or “the coming dawn” in the Ho-Chunk (Winnebago) language.

The Ho-Chunk language was spoken by Indian tribes throughout the Great Lakes region. Taycheedah is also a Winnebago word meaning “lake camp.” “Fond du Lac” is a French word meaning “at the end or base of the lake” which is appropriate term for the city of Fond du Lac located at the southern tip of Lake Winnebago. Lastly, the origin of the name “Wisconsin” is not exactly certain but most commonly accepted definition is that it is a Winnebago word meaning “wild, rushing rivers.” Another possibility is that is Wisconsin or “Quiskonsin” a corruption of the French word “qu ce q'on descent” or river “rapids.”

“Winnebago” means “people of the stinking waters” which might be related to the occasional stinky algae blooms that occur on Lake Winnebago in hot summer months. By the way, Lake Winnebago has the distinction of having the world's largest stock of lake sturgeon. Catching a sturgeon is not by hook and line but by spear and the spearing season begins in mid-February annually and runs for only 16 days. In 2012, the largest sturgeon ever caught on Lake Winnebago (a female) was 125 years old, weighed 240 lb., and measured 87.5 in. in length.

私の故郷のウィスコンシン州は、多くの地名が文化もしくは歴史に由来していて、その地域に誰が住んでいたか知ることができる。最初にフランスの探検家が到着する前、ウィスコンシン州は複数のインディアン民族（オジブワ族・メノミニエ族・ウイネベゴ族・ダコタ族）が居住していた。多くの川、町、州がこれらの民族に由来した名前となっている。

私が育った場所、ウィスコンシン州フォンデュラク、タエチーダ村のウイネベゴ湖のホカポウィカビーチはウィスコンシン州の文化と歴史が反映されている。

まず、ウイネベゴ湖はウイネベゴ民族にちなんでつけられたものである。彼らは湖とホカポウィカのあたりに住んでいた。ホカポウィカはウイネベゴ語で「朝日の栄光」や「来る夜明け」を意味する言葉である。

ホチャンク語（Ho-Chunk 語）は五大湖付近にてインディアン民族によって話されていた。タエチーダ（Taycheedahis）もウイネベゴ語であり、「湖のキャンプ」を意味する。また、フランス語のフォンデュラクという言葉は「湖のふち」を意味していて、ウイネベゴ湖の南に位置する Fond du Lac シティーにぴったりの語である。実は「ウィスコンシン」の語源は定かではないが、諸説ではウイネベゴ語で「激しい川」である。また、同様に「川の流れ」といった意味のフランス語のケ・セ・クオン・ディセントという言葉からウィスコンシンという名前ができたとも言われている。

ウイネベゴ自体は「臭う水の人々」を意味する。ちなみに、ウイネベゴ湖は世界で最も多くのチョウザメが生息していることでも知られている。チョウザメの捕獲は釣り竿ではなく、槍を使用する。捕獲シーズンは2月の中旬のたったの16日間である。2012年には、過去最大の大きさの87.5インチ（およそ222センチ）、125歳、240lb（108キロ）のチョウザメが釣れた。

（次号に続く）



Winter Sunrise Over Lake Winnebago



「マディソンで女性のつばさメンバーと再会」

つばさの会



千葉県とウィスコンシン州の公式な女性交流は、姉妹県州の提携がされた平成2年に始まり12年で終了しましたが、その絆をつないでいこうとする女性たちの有志のグループ「つばさの会」が発足し、今でも交流が続いています。今回の旅は、マディソン在住の女性メンバーの招きにより実現したもので、6月28日（水）から7月4日（火）までの旅に千葉県から6人が参加、充実したプログラムを堪能してきました。

“Chiba Friendship Visit Madison”の一行は、大浦京子、石井崇子、広瀬紀子、石丸輪子・泰夫妻、山崎静江の6人です。マディソン到着時の嵐が嘘のように収まり、青空の下にマディソンでの初日がスタートしました。午前中はモノナ湖を臨むコンベンション施設“モノナ・テラス”と美術館のようなキャピタル（州庁舎）を見学。午後には、マディソン在住の女性のつばさメンバーがティーパーティに招いてくださるというハプニングが待っていたのです。会場のダイアンさんのお宅では10人もの懐かしい方々が笑顔とハグで迎えてくださり、手作りのケーキや飲み物のおもてなしに私たちは大感激！あっという間に時間が過ぎていきました。



ダイアンさん宅でのティーパーティ



2日目のハイライトは、旧帝国ホテルの設計でも知られるフランク・ロイド・ライトのタリアセン観光です。木や石をふんだんに用いたライト設計の研修棟（今でも使われている）や私邸が保存されているこの地区は、建物と豊かな自然とが調和し、アジアの雰囲気感を漂わせる室内空間に“安らぎ”や“祈り”を感じることができました。

◀今も使用されている研修棟の前で

翌7月1日は、ギルダズ・クラブの訪問です。ここはがん患者とその家族や友人を支えるための施設で、運営は全て寄付とボランティアに委ねられています。私たちは、早朝のファーマーズマーケットで食材を購入し、日本から持参した海苔や巻き簾で、太巻き寿司とトン汁づくりに大奮闘。ダイニングルームに集まってくださった皆さんも楽しそうに、中身がはみ出た太巻き寿司も美味しそうに召し上がってくださり、私たちもホッとしました。



ギルダズ・クラブを訪問、皆さんの笑顔が素敵でした！



最終日の2日は、教会の早朝のミサ、Wollersheimワイナリー、デビルズ湖、国際つる財団を見学し、夜は、4日間のすべてに同行してくださったホストファミリーの方々をフェアウェル・ディナーにお招きしました。ホテルの一室に設けた二次会の場にもホストファミリー全員が集まってくださり、気持ちが高まります。私たちは皆さんの前で“上を向いて歩こう”を合唱し、皆さんへの感謝と別れがたい気持ちを伝えたのです。

◀美しい自然の中のワイナリー

旅は好天にも恵まれ、貴重な体験・発見と沢山の出会いがありました。最後に、今回のマディソン訪問をコーディネートしてくださった宮崎文子さんと貴美子さんに、心から感謝申し上げます。

ウィスコンシン州出身のALTを紹介します！

県内の学校には多くのウィスコンシン州出身のALTが活躍しています。

ALTとは、Assistant Language Teacherの略で、外国語を母国語とする外国語指導助手をいいます。

県内の小中、高等学校には、英語発音や国際理解教育の向上のため多くのALTが配置されていますが、今回県内の学校で働くウィスコンシン州出身のALTを紹介します。



顔写真

Christina Brown (松尾高校)

後列左から

Jacob Wiering (匝瑳高校)
Jacob Stroth (松戸国際高校)
Jacob Letter (土気高校、千城台高校)
Patrick Grimes (安房高校、長狭高校)
Jonathan Kangas (佐倉高校)
Jamison Taube (東金高校)

中列左から

Joseph Simurdiak (一宮町立一宮中学校)
Andrew Olson (君津高校)
Lucas Young (千葉東高校)
David Klug (流山おおたかの森高校)
Kathryn Yeazel (成田国際高校)
Zachary Price (県教育庁 WI-ALT Program Coordinator)

前列左から

Zachary Krause (県国際課 Prefectural Advisor)
Melissa Janssen (東葛飾高校)
Kaoley Vue (松戸国際高校、小金高校)
Natalie Stoeckel (岬中学校)
Josephine Kirkland (旭市立琴田小学校)
Paula Green (流山おおたかの森高校)
Michelle-lee Rodgers (柏井高校)

※ () 中は所属の学校

食文化 de 交流 2018 ～ロースターキー＆房総祭り寿し～開催のお知らせ

CWAでは県内の学校で活躍しているALTのみなさんと一緒に料理や飲み物を作りながら食文化の交流を行うイベントを下記のとおり開催します。

日 ち：2018年1月21日(日)

時 間：午前10時から午後3時まで

場 所：千葉市生涯学習センター3階(食文化研修室)

料 金：CWA会員1,200円、一般1,500円、子ども1,000円

募集人数：30人 ※先着順

申込締切：2018年1月10日(水)

※詳しくはCWAのホームページ(下記参照)をご覧ください。



CWAの会員を募集しています

【会 費】(2017.6.1現在/個人111・団体15団体・賛助2団体)

- 1 個人会員 2,000円
- 2 団体会員 10,000円
- 3 賛助会員 20,000円(1口)(※何口でも可)

【事業内容】

- 1 ウィスコンシン州との姉妹交流事業(派遣・受入)
- 2 会員等交流事業
- 3 ウィスコンシン州に関する情報収集とその発信
- 4 地域の国際交流事業への参加

【特 典】

- ☆ 会報(CWA NEWS)の発行
- ☆ ウィスコンシン州との交流イベントの企画運営に参加
- ☆ 交流イベントのご案内
- ☆ ウィスコンシン州内の団体等との交流をバックアップ

【会費納入方法】

銀行振込(ゆうちょ銀行・千葉銀行)または郵便振替
※詳しくは下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

電話 043-223-2394(千葉県総合企画部国際課内)

【編集後記】

2017 千葉県友好使節団員は所期の目的を達成し、10月15日に無事帰国しました。団員からはウィスコンシン州での様々な交流を通じて貴重な体験をしたとっています。交流活動の様子や団員の感想等は来年3月発行(予定)の第40号でページ数を増やして紹介しますので楽しみにしてください。

発行所：千葉ウィスコンシン協会

発行人：森山茂男 編集：広報部会

<http://chiba-wisconsin.net/>

〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14階

(公財)ちば国際コンベンションビューロー内

*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2394(千葉県国際課内)